

所属・職・氏名	岩手大学工学部 建設環境工学科 建設工学 助教授・古住 光正
シーズ名	無機質系コンクリート補修材の開発
シーズ概要	<p>コンクリート構造物のひび割れ補修には、接着強度が強いことからセメント系より樹脂系の補修材が多用されてきた。しかし、樹脂系補修材は、コンクリートとの経年劣化の違いにより二次劣化が起り易いことが指摘されてきた。</p> <p>そこで本研究では、環境に優しいセメント系補修剤の開発に関する研究を行い、従来型よりも接着強度、化学抵抗性に優れた商品名「SIRC」を開発した。</p> <p><b>ひび割れ補修方法</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Vカットシーリング工法</li> <li>- 樹脂系注入工法</li> <li>- セメント系注入工法 <ul style="list-style-type: none"> <li>他社製品</li> <li>SIRC工法</li> </ul> </li> </ul> <p>図1 従来のひび割れ補修工法と筆者らの開発した SIRC 工法</p> <p><b>硫酸溶液浸透試験</b> </p>  <p>図2 SIRC の化学抵抗性試験</p> <p><b>首都高速試験施工</b> </p>  <p>図3 現場試験施工例</p>
その他参考資料	須藤 武：コンクリート補修に関する総合的研究、岩手大学大学院修士論文（2003）
共同研究機関・企業	株式会社バウハウス
特許(出願)番号	特許公開平 09-302947